



KOD SYBR® qPCR Mix
作成 2012年6月27日

整理番号 : 1205A

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	KOD SYBR® qPCR Mix
製品コード	QKD-201、QKD-201T
供給者の会社名称	東洋紡株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	ライフサイエンス事業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833
推奨用途及び使用上の制限	Realtime PCRによるDNAの検出、定量（研究用試薬）

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性 有害性	通常の状態では人の健康に対する有害な影響は小さいが、有害性の調査が十分ではないので、取扱いには注意する。
GHS分類 物理的・化学的危険性 人健康有害性 環境有害性	分類基準に該当しない 分類できない 分類できない

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物	
化学特性	酵素、基質等の水溶液	
パーツ名	主要成分	CAS No. (EC No.)
KOD SYBR® qPCR Mix	トリス（ヒドロキシメチル）アミノメタン	77-86-1
	デオキシアデノシン三リン酸	1927-31-7
	デオキシシチジン三リン酸	102783-51-7
	デオキシグアノシン三リン酸	93919-41-6
	デオキシチミジン三リン酸	18423-43-3
	添加剤	非公開
	DNAポリメラーゼ	(EC 2.7.7.7)
	タンパク質(マウスモノクローナル抗体)	-
	SYBR® Green I	163795-75-3
	ROXリファレンス色素	-
50× ROX Reference Dye		
危険有害成分		
化学名又は一般名	添加剤	
別名	非公開	
含まれるパーツと含有量	KOD SYBR® qPCR Mix :	
	<15%	
化学特性（化学式）	非公開	
CAS番号	非公開	
官報公示整理番号 化審法 :	登録済み	
安衛法 :	公表	
化学物質管理促進法		
指定化学物質(政令番号)	該当しない	
労働安全衛生法		
通知対象物（政令番号）	該当しない	
毒物劇物取締法		
毒物・劇物（政令番号）	該当しない	



安全データシート

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪くなった場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

多量の水で十分洗い流す。

眼に入った場合

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。

飲み込んだ場合

可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤

消火を行う者の保護

消火は風上から行う。

大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

作業を行う際は保護具を着用し、眼・皮膚への接触や吸入を避けるように注意する。

環境に対する注意事項

直接河川など環境中に放出しない。

除去方法

可能な限り、減圧で吸引したり、ウェスなどに吸収させて密閉式の空容器に回収し、その後、大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

人体への接触を避けるよう十分に配慮する。

注意事項

眼、皮膚、衣服への接触を避け、取扱い後は充分洗浄する。

安全取扱い注意事項

取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。

保管

適切な保管条件

密閉容器にて-20℃で保管する。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

日本産業衛生学会勧告値

ACGIH TLV

OSHA PEL

添加剤

設定されていない

設定されていない

設定されていない

保護具

呼吸器の保護具

必要に応じてマスクを着用する。

手の保護具

ゴム手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて実験用の被服等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状

常温で液体、-20℃では固体。

色、臭い

無色透明、ほとんど無臭

pH

7.0~9.0

引火点

水溶液のため引火性はないと考えられるが、KOD SYBR® qPCR Mixは水分蒸発後131℃の引火点を持つ添加剤が残留する。

爆発特性

常温では爆発性なし

比重

1.0-1.2

溶解性

水に可溶



KOD SYBR[®] qPCR Mix
作成 2012年6月27日

整理番号 : 1205A

安全データシート

10. 安定性及び反応性

安定性
反応性
避けるべき条件
危険有害な分解生成物

-20℃で安定
通常の条件下では安定である。
高温、直射日光、火災などによる強熱、強酸化剤、還元剤
知見なし

11. 有害性情報

急性毒性
局所効果
各成分の有害性情報

データなし
眼や皮膚の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こす可能性がある。

急性毒性 (LD50)

添加剤
マウス経口：
4773mg/kg

発癌性

日本産業衛生学会
IARC
ACGIH

記載なし
記載なし
記載なし

12. 環境影響情報

移動性
残留性・分解性

水溶性あり、水系に拡散する。
データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理委託することが好ましい。本製品の低濃度廃水は活性汚泥処理を行うことができる。焼却する場合には、焼却設備により大気汚染防止法令等に従い、おがくずなどに吸収させて焼却炉で少しずつ焼却する。
その施設・地域の廃棄規則に準じて廃棄する。

汚染容器・包装

14. 輸送上の注意

国際規制

海上

航空

国内規則

陸上

海上

航空

輸送の特定の安全対策及び条件

非危険物

非危険物

非危険物

非危険物

非危険物

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

輸送に関する法規制は、14. 輸送上の注意の項参照。

製品として法規制に該当しないが、含有する添加剤は、危険物第4類引火性液体第3石油類水溶性液体に該当する。



KOD SYBR[®] qPCR Mix
作成 2012年6月27日

整理番号 : 1205A

安全データシート

16. その他の情報

参考文献

「労働安全衛生法対象物質全データ」化学工業日報社（2000年）
「化学物質管理促進法対象物質全データ」化学工業日報社（2000年）
ACGIH（7th, 2001）

制約事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものですので、特別の実施をする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。